

製品名: HSC 70 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12216

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPA8
別名	HSPA8; HSC70; HSP73; HSPA10; Heat shock cognate 71 kDa protein; Heat shock 70 kDa protein 8
遺伝子 ID	3312.0
SwissProt ID	P11142
免疫原	抗血清はヒト HSC 70 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 202-251

背景

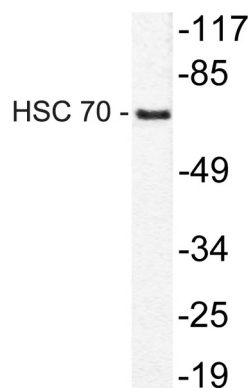
この遺伝子は、熱ショックタンパク質 70 ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーには、熱誘導性タンパク質と恒常発

現タンパク質の両方が含まれます。このタンパク質は後者のグループに属し、熱ショックコグネイトタンパク質とも呼ばれます。シャペロンとして機能し、新生ポリペプチドに結合して正しいフォールディングを促進します。また、細胞内における膜成分の輸送において、クラスリン被覆小胞の分解においてATPaseとしても機能します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2011年8月]、機能: シャペロン。アイソフォーム2は、コシャペロンと競合することにより、HSC70の内因性阻害制御因子として機能する可能性がある。誘導: 恒常的に合成される。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: 熱ショックタンパク質 70 ファミリーに属する。細胞内局在: 熱ショックを受けると、細胞質から核、特に核小体へ速やかに移行する。質量分析法によって、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画で同定されている。サブユニット: HSPH1/HSP105 と相互作用する。IRAK1BP1 と相互作用する (類似性による)。PACRG および TSC2 と相互作用する。SV40 VP1 と相互作用する。組織特異性: 普遍的。

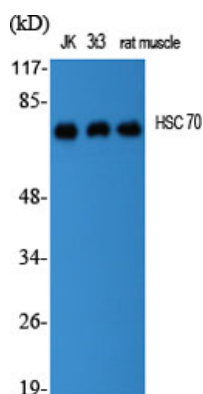
研究分野

スプライソソーム;MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;エンドサイトーシス;抗原の処理と提示;

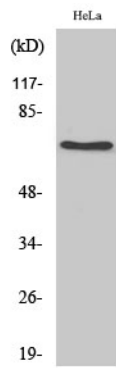
画像データ



HSC 70 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



HSC 70 ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



HSC 70 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析